

窓口への保健師配置による子育て環境の整備（伊予市）

【取組概要】

目的：市役所窓口保健師を配置し、母子健康手帳、予防接種手帳、妊婦・乳児一般健康診査受診券等の発行、妊娠に関するパンフレットの配布を行うとともに、妊産婦への指導・相談に応じることより、子育てに関する環境整備に努める。

実施主体：伊予市

事業実施期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

人口 38,444 人

担当部署 市民福祉部健康増進課
事業実施期間

平成27年4月～平成28年3月

取組事例のURL



窓口相談の様子

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

窓口一元化による利便性

住民の出生や転入等の異動の際に、タイムリーに保健にかかわる手続きができるため、便利かつ、子育てに関する情報提供の場となり、育児不安の軽減が図れる。予防接種等の接種勧奨の機会にもなり、接種率向上につながる。

市民のニーズをサービスに反映

妊娠期から出産後までの相談を行うことにより、市民のニーズ把握に努め、子育て支援センター・ファミリーサポート事業や児童センター等各機関と連携した事業の展開を行い、地域における子育て支援活動が強化されるよう、取り組んでいく。



他機関と連携した育児教室の様子